

新たなごみの資源化施設について

「町田市一般廃棄物資源化基本計画」を踏まえ、2013年に策定した「町田市資源循環型施設整備基本計画」に基づき整備を進めている、新たなごみの資源化施設について、2022年12月の行政報告以降の進捗状況等を報告します。

1 資源ごみ処理施設（ビン・カン、ペットボトル、容器包装プラスチック等）

（1）資源ごみ処理施設整備について

資源ごみ処理施設整備は、相原地区は2025年度、上小山田地区は2027年度の稼働に向け、関係者等と施設の建設に関する協議、調整を進めています。

相原地区につきましては、現在、用地取得に向け、関係者等との調整を進めています。また、施設建設に向け、プラントメーカーに見積設計図書の提出を依頼しました。今後も地域のご理解を得ながら、整備事業を進めます。

（2）資源ごみ処理施設連絡会

相原地区につきましては、3月4日（土）に相原地区資源ごみ処理施設連絡会を開催し、進捗状況等を報告しました。上小山田地区につきましては、3月27日（月）に上小山田地区資源ごみ処理施設連絡会を開催する予定です。

2 町田市バイオエネルギーセンター（ごみ焼却施設、バイオガス化施設、不燃粗大ごみ処理施設）

（1）旧清掃工場敷地内の土壌汚染調査について

旧清掃工場の解体工事におきましては、土壌汚染対策法及び都民の健康と安全を確保する環境に関する条例に基づき、土壌汚染調査を行う必要があります。

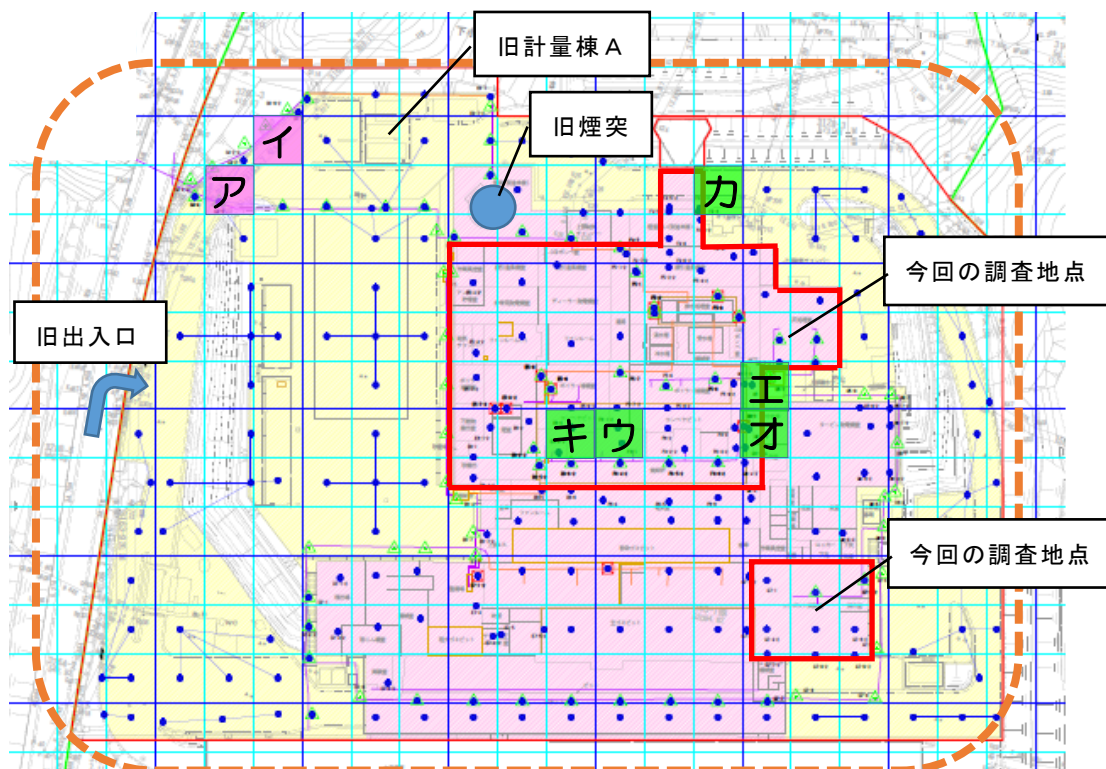
① 調査状況

9月の行政報告において未調査であった76地点について調査を実施し、予定したすべての地点の調査を終えました。

② 分析結果

分析結果は、4地点で「鉛及びその化合物」が、3地点で「ふっ素及びその化合物」が溶出量基準値を僅かに超過しました（【調査地点図】参照）。

【調査地点図】



鉛及びその化合物

調査地点	溶出量測定値（最大）	溶出量基準値
地点ア	0.027 mg/L	0.01 mg/L 以下
地点イ	0.024 mg/L	
地点カ	0.011 mg/L	
地点キ	0.013 mg/L	

測定値は、ミネラルウォーターの成分規格値（0.05mg/L 以下）よりも小さな値でした。

ふっ素及びその化合物

調査地点	溶出量測定値（最大）	溶出量基準値
地点ウ	1.5 mg/L	0.8 mg/L 以下
地点工	1.0 mg/L	
地点才	0.93 mg/L	

測定値は、海水中のふっ素の濃度 1.3～1.5 mg/L と同程度の値でした。

③ 今後の予定

基準を超過した区画について、法・条例に基づき指定された区域の種類に応じて対策を実施します。

(2) 工事の進捗状況

旧清掃工場の地上部及び煙突の解体工事を進めています。今後は、土壤汚染調査で判明した基準値超過区画の対策を実施し地下構造物の解体工事に着手する予定です。

工事にあたっては、引き続き、周辺への配慮に努め、安全第一に進めます。

【旧焼却施設解体工事写真】



	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
							現在 ↓		
設計	[Blue bar]								
第1期工事	旧管理棟・旧花の家解体工事 造成工事								
第2期工事			工場棟建築工事・プラント工事 新管理棟建築工事				2022年1月～ ★ 施設稼働	運営開始	
第3期工事							既存工場棟 解体工事		
第4期工事						ストックヤード棟 外構工事			

(3) 町田市バイオエネルギーセンターの愛称決定について

2022年6月から8月までの期間で愛称を公募し225件の応募がありました。町田市バイオエネルギーセンター運営協議会において優秀候補6案を選出し、施設見学を行った市内児童に最優秀賞を選出する投票をしていただきました。

投票の結果、町田市バイオエネルギーセンターの愛称名は、「バイエネ君」に決定しました。3月5日に開催した環境イベント「まちだECOtoフェスタ」において表彰式を開催し、町田市バイオエネルギーセンター運営協議会会長より表彰状を授与していただきました。最優秀賞に選ばれた愛称名については、パンフレット等への掲載のほかイベント等で使用して行く予定です。

【投票結果】

○総投票数：941票（無効票含む総数）

〔最優秀賞〕	バイエネ君	(350票)
〔優秀賞〕	未来バイエネセンター	(210票)
	バイオミライ町田	(139票)
	町田バイエコ	(84票)
	ミライバイオ町田	(81票)
	資源バイオ町田	(62票)

※有効票のみ集計

3 町田市バイオエネルギーセンター運営協議会について

町田市バイオエネルギーセンターでは、施設運営状況を近隣15町内会の代表者の方に報告及び協議いただく場として、運営協議会を設置しています。1月と2月に運営協議会を開催しましたので、その概要を報告します。

(1) 第1回臨時運営協議会（2023年1月16日開催）

<議題とご意見>

①バイオガス化施設のガス発電機の排ガスについて

- ・排ガスの窒素酸化物の値が自主規制値を超過しない運転を行うためには、発電機の運転を一定の状態に保つ必要がある。
- ・測定方法、設備の機能や能力の検討を行う必要がある。
- ・触媒、アンモニアの噴霧量と窒素酸化物の相関関係について検証するなど、傾向をつかみ対策を行う必要がある。

<協議結果>

- ・対策として、エンジンの空燃比調整を実施し改善を図ります。1年間に4回行う点検時に実施することで、常に最適な運転状態を維持します。結果については、引き続き運営協議会で報告をしてまいります。

(2) 第4回運営協議会（2023年2月28日開催）

＜主な議題とご意見＞

① 運転状況報告（ごみ処理実績、エネルギーの活用状況など）

- ・ バイオガス化施設の排ガス測定結果については、号機ごとにグラフにするとわかりやすい。
- ・ 騒音の苦情について、対応が完了した時点で結果を報告してもらい、情報共有することで、今後の対応を迅速化できる。
- ・ 高効率発電について、今回だけではなく次回以降も報告を継続することへの要望など。

② 専門委員会委員の選任について

- ・ 専門委員会には学識経験者のほか運営協議会の会長・副会長も出席できることになっているが、その他の運営協議会の委員も出席できる仕組みにする必要はないか。

③ 町田市バイオエネルギーセンターの愛称募集について

- ・ 愛称決定後、広く浸透するような手法などの検討をしてほしい。

